

過灌流症候群に関する調査のお知らせ

脳神経外科では、頸動脈狭窄症に対して、CEA(頸動脈内膜剥離術)・CAS(頸動脈ステント留置術)、脳梗塞に対して脳血管バイパス術を行っています。これらの手術の合併症として、過灌流症候群とよばれるものがあります。

この度、小倉記念病院のSCUでは、これらの手術を受けた患者様の中で、術後過灌流症候群になられた方の、症状・徴候などを過去の診療録を振り返り調べる事にしました。

この調査により出現しやすい症状や徴候を明らかにし、今後の術後看護を行う上で役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2014年4月1日月から2017年3月31日までに当院でCEA(頸動脈内膜剥離術)・CAS(頸動脈ステント留置術)・バイパス術治療を受けた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、術前・術後の訴えや検査データなどの情報を得、統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

SCU看護師 中西優子

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

